

長崎高教組新聞

発行 長崎市中央2丁目2番5号
 〒850-0013 長崎高教組会館
 長崎高等専門学校教職員組合
 ☎ (095)-827-5882
 FAX (095)-826-2976
 編集責任者 小田 誠
 購読料 一部10円
 組合員は組合費に含む
 メールアドレス
 naga-kks@fsinet.or.jp

組織建設、「戦争法制」阻止等で活発な討論

定期大会での、組織建設分野、平和・民主主義分野の討論を紹介しします。
組織強化・拡大、職場活動活性化、
「組織建設3か年計画」について

組合の人たちとの出会いが決め手
 猶興館 鈴木代議員



組合に入った経緯を話します。いくつかの学校を経験しましたが、猶興館は和気藹々でいい職場です。職場によっては、教科の成績や、縦割りで

日ごろのつながり声かけが大切
 佐世保北 溝上代議員



佐世保北は組合員が比較的多く職場の雰囲気は良い。仲の良さだけではない。

大好評「ドライブレコーダー」抽選会

12人に当たったドライブレコーダー。当選者の喜びの声だけでなく、職場で話題になっています。新たな企画も考えましょう。

組合費補助で加入を促進する
 佐世保商井野口代議員

障害児学校教職員の仲間を増やす
 諫早特支 石橋代議員



「3か年計画」で特別支援学校教職員の30人新加入を実現するという方針をうけ、正直ドキッと

新しい仲間からの感謝の声
 彦岐商 川上代議員



高教組の教員採用学習会を通して加入してくれた人の話を紹介しています。「教科や法規は何とかなるけど、二次試験の面接や模擬授業などどうしたらよいか」と悩ん

は新加入者に対しその年度の組合費を補助することを考えた。組合費の負担を重く考えている人がいるとのことで、それを排除するためにおこなった。一人加入があつたが、宣伝不足もあつたかと思ひ、今年度も継続して行う方針である。



子どもが帰ったあとでもTの会議が多く、疲れ果て、声かけをしなければと思ひながらもできない状態だった。しかし、今回長崎高教組の方針として明確に打ち出されたので、本部や特支以外の先生方の支援も受けながら、障害児学校教職員の仲間を増やすためもう一頑張りしたい。

だときに、高教組のHPで学習会のことを知りまして。全くかわりのない私のために、熱心に助言していただき、とても感謝しています。そして、組合員の皆さんが、生徒のため、教職員のためさまざまなことを行っていることに敬意を表します。民間企業に勤めていた者として組合の大切さを身にしみて感じていきます。微力ながら組織拡大のためにがんばります」とのことです。

憲法・平和・民主主義・国民生活について

おひとり運送闘争に關わって
 佐世保東翔佐藤代議員

おひとり運送の裁判闘争等に関わつての報告をします。先日、同様に、経営者による攻撃を受けた光洋商事分会の裁判で完全勝利を勝ち取りました。おひとり運送はつぶされて、会社のあつたところは更地になっていま

す。松浦市の鷹島にある経営者の家の前で示威行動を行います。同じ働くものとしておひとり運送の仲間たちを救うために一緒に戦っていきます。

「戦争法制」に怒り

大村工 田中代議員



6月14日の東京での集会と国会包囲行動に参加しました。動員の呼びかけがあつたときに、今の情勢に対し怒りを感じていたのですぐに手を挙げ、参加しました。永田町の星陵会館での集会では、全国各地での「戦争法制」反対のとりくみが報告されました。国会包囲行動は2万5千人集まり、瀬戸内寂聴さんも命を振り絞つて参加したと聞き、血が沸き立ちました。

国会包囲行動で「戦争法制」廃案に確信
 波佐見 田島代議員

13日のお台場の臨海防災公園での集会とデモ行進、そして14日の集会と



国会包囲行動に参加しました。デモでは多くの人から「がんばってね」などの激励を受け、「戦争法制」に反対する人の多さを感じました。国会包囲行動では、お年寄りも若い人の心の底からのものらん限りの大声でのシュプレヒコールに、安倍政権の暴走に対する怒りを感じ、この法案は絶対に廃案に追い込めると確信を持ちました。

教員最後の仕事は「戦争法制」廃案
 小浜 菅代議員

こんな状況なのに、AKBの総選挙の話が出るが、「戦争法制」が話題にならないと怒つていて、国会前座り込みの話があり、早速参加した。今、教員が怒りを表さないと教員存在意義が問われるのではないかと。是非、反対運動を成功させないといけないと思ふ。今年で再任用も終わるが、最後の仕事として「戦争法制」反対に全力を傾けた。

教員が本音で語ることに生徒を動かす
 西陵 錦戸代議員



3月の高校教育シンポジウムに参加した。憲法分科会で、教員の政治的

主権者教育、政治教育等に一定の指針を
 佐北 溝上代議員

先日、平和主義をテーマとして政治経済の授業を行った。主権者教育は学校をあげてしないといけないと思つている。それらの中で、公務員・教育公務員として、表現の自由、政治教育など法的に認められるのか、疑問に思つた。組合として、主権者教育、政治教育、表現の自由などで気をつけるべき点や法的根拠などを紹介してもらえ

定期大会の掉尾を飾るのは、大会決議です。定期大会の本部提案、質疑・討論・本部見解等を通して深められ今年1年間の長崎高教組のとりくみ、運動を議決します。そして、1年間の高教組運動の重点を出席代議員で採択します。今年定期大会では、特別決議を提案しました。安倍内閣の暴走、ことに日本を戦前に戻す「戦争法制」の成立を許してはならないと思ひました。高教組のHPに全文掲載しています。ぜひ読んでいただきたいものです。



中立に關して、両論を紹介、教えれば平等なかつた。正しいことは正しい、間違つていことは間違つていこと言わなければならぬ。参加した大学生から、先生が本音でしゃべつてくれたことが心に残り、自分を動かしたという発言があつた。心していきたい。

6月18日の国会前座り込みに、小浜の菅先生と一緒に参加した明誠の岡山先生のインタビュー記事が、全教・国民共同局発行の「憲法・平和・核廃絶メールニュース第84号」に掲載されました。再掲して紹介します。



6月18日 曜日、国会前連続座り込み行動も4日目、夕方には定例の「戦争法案反対国会前集会」も行われました。

前日は大雨のため途中で中止になりました。この日も時々小雨がぱらつく天気になりましたが、午後5時まで座り込みは続きました。



「教室の中だけで話をしてもいいのかと疑問を感じ、国会前の行動に自分も参加したいと思った」と話すのは、2日間休みをとって駆けつけた長崎市の高校に勤務する岡山英生さん。社会科学を担当しているそうです。国会前行動に参加すること、座り込み、大勢の前でのスピーチ、シブプレヒコール、国会議員に要請するなどが初めての体験です。「国会

議員はこんなきれいで立派な議員会館で仕事をしているのか」と感想を述べる岡山さん。「戦争法案」はすべてがルール違反。憲法はすべての大前提。憲法を無視しているのか。誰が見てもおかしい」と語り、「動いて、歩いて、声をあげました。職場に帰り、現実を伝え、『戦争法案』反対の声を広げたい」と語りました。



【6・24中央行動】国会包囲行動】報告

3万人が国会包囲、戦争法案今すぐ廃案
—安倍が勝つか、我々が勝つか、95日間の闘いのスタート—
—民主主義を取り戻すには、日常の中での政治の話をする必要がある—

【6・24中央行動】



全労連・国民春闘共闘委
京春闘共闘会議主催の「6・24中央行動」に全国から400人が集まりました。全教は戦争法

【国会包囲行動】
また、この日は通常国会の会期末の日でした。ところが安倍政権は何か

党の宮本議員、社民党の福島議員が戦争法案を必ず廃案に追い込む決意を述べました。
引き続き、本部寺田が夕方6時半からの包囲行動に参加しました。今回の包囲行動には14日の2万5千人を上回る3万人が国会を包囲し、「戦争法案今すぐ廃案」「安倍政権は今すぐ退陣」のコールを国会周辺で響き鳴らしました。法案が提出されてから最大規模の行動になりました。6時を過ぎる頃から、国会周辺の地下鉄出口から参加者が道路に余り出で歩道は立錐の余地もなく人、ひとと埋め尽くされました。全教の各傘下団体は国立国会図書館前に結集し「戦争法案今すぐ廃案」「安倍政権は今すぐ退陣」のシブプレヒコールをす

さん、評論家の佐高信さん、日弁連の山岸良太さん、立憲デモクラシーの代表の山口二郎さん(法政大学)、日本共産党志位委員長、社民党吉田覚首、生活の党とゆかいな仲間の山本太郎氏らが、法案の廃案と連帯のスピーチをおこないました。3万人の「戦争反対」のコールが鳴り響き、私も安倍政権に私たちと若者の未来、日本の将来を託すわけにはいかないとコールをあげてきました。安倍政権は追いつめられています。もう一押し、二押し、退陣に追い込みましょう。今、私たちができることをやりぬきましょう。戦争法案廃案の「全国教職員投票」や県選出国会議員への要請ハガキ行動、そして7月26日の国会包囲行動に1人でも多く参加し、日比谷野外音楽堂を溢れさせ、「戦争法案」を確実に廃案にしなければいけません。国会内では自公が与党ですが、国会外では我々が与党です。

丁寧二次試験のためのコツを教えてください、自信ができました。まずは一次試験頑張ります！本当にありがとうございました。

行動」に全国から400人が集まりました。全教は戦争法の強行をめざす安倍政権と真つ向から対決し、あわせて全労連・国民春闘共闘が「第2次最賃デー」と位置づけたこの日の行動に積極的に参加しました。全国一律時給1000円以上の最低賃金を一刻も早く実現させようと、厚労省前や人事院前などで行動し、国会請願デモ、議員要請を繰り返しました。国民春闘共闘の小田川義和代表幹事(全労連議長)は、消費税や田安などの影響で賃上げが追いつかず

「教室の中だけで話をしてもいいのかと疑問を感じ、国会前の行動に自分も参加したいと思った」と話すのは、2日間休みをとって駆けつけた長崎市の高校に勤務する岡山英生さん。社会科学を担当しているそうです。国会前行動に参加すること、座り込み、大勢の前でのスピーチ、シブプレヒコール、国会議員に要請するなどが初めての体験です。「国会

議員はこんなきれいで立派な議員会館で仕事をしているのか」と感想を述べる岡山さん。「戦争法案」はすべてがルール違反。憲法はすべての大前提。憲法を無視しているのか。誰が見てもおかしい」と語り、「動いて、歩いて、声をあげました。職場に帰り、現実を伝え、『戦争法案』反対の声を広げたい」と語りました。

他教科の先生方の授業を見たり、色々な学校の先生方と交流ができ、また、素晴らしい先生方からアドバイスを頂きとても有意義な時間でした。またテスト前に対策でき、身が引き締まりました。まずは1次試験突破を目指して頑張りますので、これからもご指導宜しくお願い致します。

多くの助言を頂きましたし、多くの人の授業を見て勉強になりました。初の試みとのことでしたが、二次の模擬授業や小論文で苦戦している人は自分も含め多いと思うので、良い学習会だったと思います。人数も多すぎずちょうど良かったです。今からはまず一次を通過して、二次の対策でまたお世話になりたいです。改めまして、ありがとうございます。

色々な教科の授業を聞くことができ、参考になりました。他の教科は、色々工夫が必要で大変だなと思いました。このような勉強会が定期的に開いていただければ幸いです。まずは1次受かるように勉強がんばります。

いろんな方の授業を見れて、授業の雰囲気がかむことができたので良かったです。勉強になりました。1次試験突破できるよう頑張りたいと思います。また何か連絡するかもわかりませんが、そのときはよろしくお願いします。

丁寧二次試験のためのコツを教えてください、自信ができました。まずは一次試験頑張ります！本当にありがとうございました。

- 7月の行事予定
- 4日 養教委員会 女性部会 執行部会
 - 5日 戦争法制NO! 長崎集会
 - 7日 女性部交渉
 - 10日 教育全国署名スタート集会
 - 11日 代表者会 障教部会
 - 16日 中央行動
 - 18日 定通部総会・学習会
 - 北松支部総会
 - 諫早支部総会
 - 中央行動
 - 24日~26日 全教定通総会・学習交流集会
 - 25日 障教部会
 - 26日 中央行動
 - 29日 春闘共闘会議
 - 30日 中央行動
- 希望者は連絡を

七夕のかわいい来訪者

今年も伊良林保育園のちびっ子たちが、自分たちで作った七夕の笹飾りを高教組の書記局に届けてくれました。さっそく、飾らせてもらいました。

この子たちの笑顔をずっとずっと守って行く責任が大人にはあります。この子たちの未来を閉ざしてしまおう「戦争法制」を何としても廃案にしなければなりません。



採用試験学習会
定期大会翌日の6月21日、新しい試みとして、10人限定での二次試験を想定した「模擬授業」と「小論文」の学習会を実施しました。充実した学習会になりました。参加者から、お礼と決意の言葉が届きました。